

## 感染症抗体検査のご依頼

看護学専攻へのご入学おめでとうございます。

看護学専攻では、1年生から教養教育の地域参加型学習や専門教育において、病院等の医療機関の見学や実習が行われます。つきましては、これらの教育時における感染防止対策をはかるため、入学に先立って、下記に従い各自で検査を受けていただきますようお願いいたします。

### 記

#### 1 検査項目

疾患名	検査方法 <sup>(注1)</sup>	抗体のレベル：本学の陽性基準
麻疹	①IgG EIA 法	16.0 以上
*①または②の検査方法	②PA 法	1：256 以上
風疹	①HI 法	1：32 以上
*①または②の検査方法	②IgG EIA 法	8.0 以上
流行性耳下腺炎(ムンプス)	IgG EIA 法	4.0 以上
水痘	IgG EIA 法	4.0 以上

(注1) 必ず上記の指定の方法による検査を受けてください。

#### 2 検査機関

検査は、医療機関で各自受けてください。なお、医療機関は指定しませんが、上記の方法による検査が行われているかどうか確認した上で受検してください。(名古屋市立大学医学部附属病院では、検査を受けることはできません。)

#### 3 検査結果の提出

提出の日時・方法は入学後の多職種連携教育：基礎の講義にて連絡します。検査結果はA4用紙にコピーし、上記疾患の過去のワクチン接種歴がわかるもの(母子健康手帳等のコピー)とあわせて、2回目の多職種連携教育：基礎の講義時(4月18日(金))に持参してください。

(注2) 氏名、検査日、検査方法、抗体価が明示されていることを確認してください。

(注3) 検査結果の原本は入学後に配布される「感染症等の抗体検査結果と予防接種の覚え書き」に貼付し、必ず各自で卒業まで大切に保管してください。

#### 4 その他

- 看護学専攻では、病院等の医療機関の見学や実習の前に感染症抗体検査の結果を確認することを必須としています。感染予防のための抗体価が不十分であると判定された場合には、必要に応じて、医療機関にてワクチン接種を受けていただきます。ワクチン接種については、入学後のオリエンテーション等において説明します。
- 検査結果のコピーは、個人情報として事務室で厳重に管理し、その利用は学生の教育上必要な場合に限定し、卒業後に一定の期間を経て廃棄します。事務室では、本人からであっても、検査結果の問い合わせには原則応じません。